【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公表番号】特表2011-502728(P2011-502728A)
【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)
【年通号数】公開・登録公報2011-004
【出願番号】特願2010-534320(P2010-534320)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｂ　53/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｂ　53/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年11月11日(2011.11.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ゴルフクラブ、またはグリップ領域を有すると共に使用時に動作させられるその他の用具用のフェアリングであって、前記フェアリングは、前記クラブのスイング動作または前記用具の動作中の、前記シャフトに関連する抵抗を低減するために前記ゴルフクラブまたは用具のシャフトに対して取り付け可能であり、取り付け状態では、前記フェアリングは、前記クラブまたは用具が通常保持される前記グリップ領域から離れた前記クラブまたは用具の端部近傍位置から、前記シャフトの一部に沿って、延在することを特徴とするフェアリング。
【請求項２】
前記フェアリングは前記シャフトに対して取り外しできないように取り付けられることを特徴とする請求項１に記載のフェアリング。
【請求項３】
前記フェアリングは前記シャフトに対して取り外しできるように取り付け可能であることを特徴とする請求項１に記載のフェアリング。
【請求項４】
前記フェアリングは、前記ヘッドに隣接して前記シャフトに取り付け可能であることを特徴とする請求項１に記載のフェアリング。
【請求項５】
前記フェアリングは前記シャフトに対してスイベル機構によって取り付け可能であり、これによって前記フェアリングは前記シャフトに対して回動となっていることを特徴とする請求項１に記載のフェアリング。
【請求項６】
いったん前記フェアリングが所望のポジションへと動くと、前記フェアリングはこのポジションでロック可能であることを特徴とする請求項５に記載のフェアリング。
【請求項７】
前記フェアリングは、エーロフォイルの形態である本体を具備してなることを特徴とする請求項１に記載のフェアリング。
【請求項８】
前記フェアリングは、それ自身に設けられた孔、オリフィスまたは凹凸の一つ以上を有

し、これは、空気がその中をまたはその上を通過するときに音を発生させるようになっていることを特徴とする請求項１に記載のフェアリング。
【請求項９】
ゴルフクラブまたは用具であって、
グリップ領域と、
ヘッドと、
前記グリップ領域を前記ヘッドに対して接続するシャフトと、
前記クラブのスイング動作中または前記用具の動作中の前記シャフトに関連する抵抗を低減するために前記シャフトに対して取り付けられるフェアリングと、
を具備してなり、
前記フェアリングは、前記クラブまたは用具の前記ヘッド近傍の位置から前記シャフトの一部に沿って延在するようになっていることを特徴とするゴルフクラブまたは用具。
【請求項１０】
ゴルフクラブまたは用具であって、
グリップ領域と、
ヘッドと、
前記グリップ領域を前記ヘッドに対して接続するシャフトと、
前記クラブのスイング動作中または前記用具の動作中の前記シャフトに関連する抵抗を低減するために前記シャフトに対して取り付けられる抵抗低減手段と、
を具備してなり、
前記抵抗低減手段は、前記クラブまたは用具の前記ヘッド近傍の位置から前記シャフトの一部に沿って延在するようになっていることを特徴とするゴルフクラブまたは用具。
【請求項１１】
前記抵抗低減手段はフェアリングを具備してなることを特徴とする請求項１０に記載のゴルフクラブまたは用具。
【請求項１２】
前記シャフトは、当該シャフトの残部に対して、より大きな断面幅あるいは直径を有する領域を有することを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブまたは用具。
【請求項１３】
前記シャフトの一部、大部分または全体はエーロフォイルの形態であることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブまたは用具。
【請求項１４】
前記シャフト、ヘッドおよび／またはフェアリングの少なくとも一部は、少なくとも当該部分にわたって空気流を変える表面処理部を有することを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブまたは用具。
【請求項１５】
前記表面処理部は、前記部分の表面に形成されたディンプリングを具備してなることを特徴とする請求項１４に記載のゴルフクラブまたは用具。
【請求項１６】
前記ヘッドの上面は、当該ヘッドの下面の上の少なくとも一つの空気流路よりも短い少なくとも一つの空気流路を提供するようになっていることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブまたは用具。
【請求項１７】
前記フェアリングは前記ヘッドに隣接して前記シャフトに対して取り付けられ、かつ、前記シャフトの長さの半分よりも短い長さにわたって前記ヘッドから離れるように前記シャフトに沿って延在していることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項１８】
前記フェアリングは、前記シャフトの長さの約三分の一あるいはそれ未満の長さにわたって前記ヘッドから前記シャフトに沿って延在していることを特徴とする請求項１７に記載のゴルフクラブ。

【請求項１９】
前記フェアリングは、前記シャフトの直径と実質的に等しいか、あるいはそれよりも僅かに小さな最大厚みを有することを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項２０】
前記フェアリングは前記シャフトから離間させられていることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項２１】
前記フェアリングの幅は、それが、前記クラブの前記ヘッドよりも遠方に、前記シャフトから後方に延在するようなものであることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項２２】
前記フェアリングは、その下側端部から、前記ヘッドから離れた上側端部へと、幅が減少することを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項２３】
前記フェアリングの幅は、その下側端部から、前記ヘッドの遠位にある上側端部へと、前記フェアリングの長さの一部あるいは全体にわたって先細になっていることを特徴とする請求項２２に記載のゴルフクラブ。
【請求項２４】
前記クラブのスイング動作中に前記フェアリングが前記シャフトに対して自由に動けるように、前記フェアリングが前記シャフトに対して動くことができるように構成されていることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項２５】
前記フェアリングは、少なくとも二つのポジション間で前記シャフトに対して動くことができるように構成されていることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項２６】
前記フェアリングは、断面に関して翼あるいはブレード形状である本体を具備してなることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブ。
【請求項２７】
前記用具は、パドル、オール、野球バット、クリケットバット、テニスラケット、卓球ラケット、あるいはハンマーであることを特徴とする請求項９に記載のゴルフクラブまたは用具。
【請求項２８】
前記フェアリングは前記シャフトに沿った軸線方向に移動可能であることを特徴とする請求項１に記載のフェアリング。